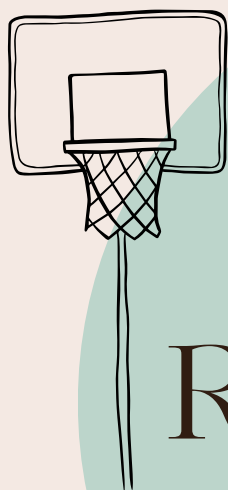


常に何かに挑戦していれば輝きは失われない。挑戦してその結果が成功だとか、失敗だとかではない。挑戦したときがもう成功といえるのではないだろうか。

By. 三浦和良（サッカー選手）



2026年1月
AICHI
REFEREE
BRIDGE



▼▼目次▼▼

- ✓ TO
- ✓ B級審査会開催報告
- ✓ U12：C/D級更新講習会&B級審査会結果
- ✓ 判定力向上のために取り組んでいること
- ✓ インカレ参加報告
- ✓ ウィンターカップ参加報告
- ✓ Jr.ウィンターカップ、天皇杯・皇后杯特集
- ✓ 女性審判講習会（web）開催報告



TO
(テーブル
オフィシャルズ)

審判のシグナルが TOの操作に繋がる

TO委員会より
(作成者：原田)

TOはゲーム中、常に審判のシグナル(判定)を確認して、操作を行っています。

審判とコミュニケーションを取り、共通認識をすることで正確かつ円滑に試合を進めることができます。今月はゲームクロック、ショットクロックのスタート/ストップについて紹介します。

※スコアラール=S Aスコアラール=AS タイマー=T SCオペレーター=SC

【審判】

審判のシグナルを確認する

【TO】

正しいタイミングで正しい操作と
コミュニケーションを行う

例：バイオレーションやファウルでゲームが止まる

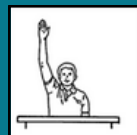


ピッ!

審判の笛、
あがっている手を
確認して

T…[ストップ]の操作と声
同時に開いた手をあげる
→目視でクロックを確認
SC…[ストップ]の操作と声
→目視でクロックを確認
→再開秒数の判断する

ストップ!



バイオレーション：手のひらを開く
ファウル：片手のこぶしを握る

※クロックの修正が必要な場合は、
審判の確認の元で行う。

例：スローインで再開の場面でゲームクロックを動かす

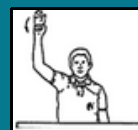


手を振り下ろす
=スローインの場合、コート上の
プレイヤーがボールに正当に触れたとき

コート内の状況
審判の手を確認して

T…[スタート]の操作と声
→目視確認
①同時に手のひらを握り
②手をおろす
SC…[スタート]の操作と声
→目視確認

スタート!



例：スローイン成立してすぐにカットボールでアウトオブバウンズ(0.5秒進む)
ゲームクロック、ショットクロックは[スタート]し、すぐに[ストップ]の操作と声になる。
そのため、計測の中身だけ進み、表示される秒数は変わらないことがある。

例：T 表示…7:15/計測の中身…7:15.5 → 表示…7:15/計測の中身…7:15.0

SC 表示…11/計測の中身…11.3 → 表示…10/計測の中身…10.8

※機材によっては表示が変わります。次回インナークロックについて詳しく紹介したいと思います。

【まとめ/ポイント】

- ・SCとTで[スタート]と[ストップ]の声でコミュニケーションを取り協力する。
- ・審判の笛が歓声等で聞こえない場合、手を確認することで正しい時間計測に繋がる。1秒、0.1秒の大切さ。

★詳しい内容につきましては、JBAテーブルオフィシャルズマニュアルをご確認ください

<http://www.japanbasketball.jp/to/documents>

★TeamJBAの基礎eラーニング(無料)を受講することもおすすすめです

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/TO-e-learning-guide_20250331.pdf

B級昇格講習会 開催報告

今年度もB級審査会を開催しました！

今年度は32名の方が受検しました。
実技審査は2回実施し、最終的に24名の方が
来年度よりB級審判員として活躍されます！！

【最終結果】

合格者：24名

※受検者へはカテゴリー長を通して結果を配信済みです。



愛知県でB級審判員になるには？

- ①C級ライセンスを取得し、各カテゴリー長からの推薦を受け、B級昇格講習会に参加申し込みをする。
- ②e-learningを受講・修了し、ルールテストに合格する。
- ③フィットネステストを受講・合格する。
- ④実技審査に合格する。※今年度は2回実施しました。その年によって実施回数が変わることがあります。
→全てのステップを完了された方が、翌年度からB級審判員として活動できます。

B級審判員になるとどんないいことがある？

例えば、

- ・県外の試合も吹くことができます！

※県外での審判活動の際は必ず愛知県の審判長及び副審判長と所属カテゴリーの審判長にもその旨の情報共有をしてください。

- ・東海大会や全国大会の審判派遣の可能性もあり！
- ・レベルの高い試合も経験できます！
- ・3POを担当する機会も増えます！

他にも沢山のメリットがあります！！

【講師からの試合の振り返り】

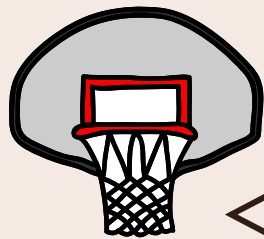


あなたもB級審判員になりませんか？

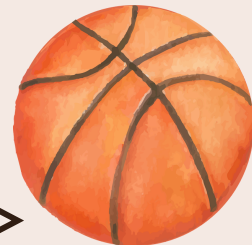
B級審判員になると経験できる試合も変わるので
審判のスキルアップにも繋がります！

皆さんもライセンスアップにどんどんチャレンジ
しましょう！！





U12カテゴリー



<U12カテゴリーD級・C級更新講習会>

後期リーグ（9/27～11/30）を使用してD級・C級の更新講習を実施しました。
級IR保持者の審判長・各支部審判長を講師として、受講された方々とゲームの振り返りを行いました。帯同審判としてやられている方も多いのでレベルアップに繋がるようなアドバイスを意識して行いました。
また、その中で上位ライセンスを目指している新たな人材の発掘に力を入れています！



<2025年度 B級審査会 合格者（U12）>

今年度は3名の方が見事合格！！
次年度からB級審判員として活動していきます。
他カテゴリー等でお見かけした際はご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

～B級審査合格者～

- ・名和 哲朗さん（西三河支部）
- ・木下 順一さん（東尾張支部）
- ・澤木 真美子さん（西尾張支部）

B級ライセンスはゴールではありません。
これからB級審判員としての誇りと自覚、
向上心を常にとって活動していきましょう。

U12県大会での記念撮影📷
左：名和さん 右：木下さん



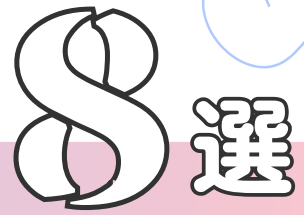
<U12県大会大会情報>

12/7(日)@西尾市総合体育館
12/13(土)@中スポーツセンター
12/21(日)@中スポーツセンター
12/28(日)@碧南市臨海体育館

1位：全国大会
2～5位：東海大会
全国・東海大会の切符を賭けて初日から
熱戦を繰り広げています。
我々レフリーも子供たちの熱意に応えられる
ように全力で頑張ります🔥

上級審判員に質問！

判定力向上のために 取り組んでいること



1 試合映像を撮影し振り返りを行う

その中で気づいたものや、反省で出てきた失敗等を次のゲームで改善できるようトライしています。
また、自分ではどうしても気づかないことや、次のステップへ足りないことはあると思うので、時々誰かに映像を見てもらうこともいいと思います。

2 様々なカテゴリーの試合を経験する



自身の所属するカテゴリーだけでなく、他のカテゴリーに応募する。
また、機会があれば、いろんな地域の試合にも挑戦する。

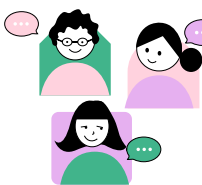
3 競技規則とメカニクスの理解

競技規則とメカニクスを理解し、どんな時も崩さないように知識の定着と実践を繰り返す。
ルールへの定着は判定力向上のために重要です。
その上で多くの試合を見て、自分がコートに立って審判をしているイメージトレーニングをする。

4 バasketボール戦術の勉強

トレンドの戦術は何か？そのスキルの構造は？
なぜその戦術を使用しているか？その戦術を遂行するために必要なスキルは何か？を分析する。
それをオンザコートでの判定の材料にしています。

5 審判の仲間同士での意見交換



色々なカテゴリーの人とゲームと一緒に見ながら、判定やメカニクスに関してディスカッションする。
仲間同士で技術力の向上に取り組む。

6 とにかく沢山の試合を観る

自身の試合映像だけでなく、できるだけ多くのトップリーグや国際試合・NBAの試合を観る。
レベルの高い審判員の人たちの立ち居振る舞い・判定・プレゼン・走り方・メカニクスやコミュニケーションの取り方などを見て真似してみる。

7 メカニクスへのチャレンジ

- ①判定にチャレンジするというより、メカニクスにチャレンジする（トライ&チェック）
- ②一つの判定に対して「様々な可能性」を含めて分析判断し、振り返りを行う
- ③②で足りない部分を補うために、他の人の意見や考え方を聞いて取り入れてみる（再トライ&チェック）
- ④映像を見て分析した上で、確認したい部分は担当クルーに共有・確認・意見交換する

8 練習試合に積極的に参加する

練習試合は審判にとっても練習の場なので、様々なカテゴリーの練習試合にチャレンジして試合の経験を積む。
試合後にはそれぞれのコーチに試合の反省を聞くことで技術力の向上に繋がっています。

上級審判員の皆さんはこうやって技術力向上を図ってきたのですね！

特別なことはなく、日々コツコツとやるべきことを積み重ねてルールやメカニクスなどの知識を深め、それをコート上でトライしていくからこそ新たな課題が出てくる。

是非、皆さんも次の試合に向けてチャレンジしてみましょう！！

第77回 全日本大学バスケットボール選手権大会 in 東京 参加報告

11月29日(土)～12月14日(日)まで、約2週間にわたって開催されたインカレに初めて参加させていただき、全国大会ならではの学びや出会いを経験することができました。
派遣に際して尽力してくださった方々に深く感謝いたします。

宮内 遥/U15



【担当ゲーム】

12月8日(月) 女子予選リーグ	桐蔭横浜大学×広島文化学園大学
12月9日(火) 女子予選リーグ	仙台大学×福岡大学

～ゲームプランと確かな手応え～

今回のインカレ派遣で最も意識したのは、クルーとして「どういうゲームにしたいのか」ということと、ゲーム中にそれらを「どのようにメッセージするのか」ということでした。
ポイントに置いたのは「手」への対応です。大学生らしいボディコンタクトはゲームの中で活かしつつ、一方でハンドチェックなど手を使ったプレーには序盤から早めに笛を入れ、「正しいバスケットをしよう」というメッセージを明確に伝えました。
会場の熱気や選手の気迫に吞まれることなく、最後まで落ち着いてプレーの見極めができたことは自分の中で大きな手応えとなりました。



～若きレフェリーたちの「こだわり」に触れて～

今回の派遣で大きな刺激となったのが、関東学連の学生審判員たちの姿です。彼らは大学の「審判部」に所属し、日々研鑽を積んでいます。驚かされたのは、その意識の高さです。洗練されたプレゼンテーション、説得力を持たせるための身体作り、ベンチとの積極的なコミュニケーションなど、一人一人がコート上で自分の「こだわり」を強く表現していました。
若くしてレフェリーという活動に真摯に向き合う彼らの姿勢に、私自身も改めて身が引き締まる思いでした。世代を問わず、良い準備とこだわりを持ってコートに立つ大切さを再確認した出会いとなりました。

【最終結果🌟】

順位	男子	女子
1	白鷗大学	東京医療保健大学
2	早稲田大学	白鷗大学
3	日本経済大学	筑波大学
4	東海大学	早稲田大学

女子決勝は太田麻須美さんが
担当しました！！



SOFTBANK WINTER CUP 2025

SoftBank ウインターカップ

令和7年度 第78回全国高等学校バスケットボール選手権大会 参加報告

荒木 玲子(U18/A級)

大会期間：12月 23日～29日

派遣日程：12月 23日、24日で 2 試合割当

12月23日 対戦カード：

柴田学園大学附属柴田学園高等学校（青森県） × 鹿児島高等学校（鹿児島県）

クルー：CC岡（栃木）、U1荒木、U2 榎並（東京）

12月24日 対戦カード：

龍谷富山高等学校（富山県） × 鳥取城北高等学校（鳥取県）

クルー：CC前田（愛媛）、U1荒木、U2慶野（栃木）



🏀 ウインターカップへの憧れと今回の経験 🏀

2年前に東京体育館でウインターカップを観戦した際、4面同時進行の試合を目の当たりにし、いつか自分もあの舞台に立ちたいと強く思いました。今回、2試合を担当させていただき、改めて愛知県のバスケットボールレベルの高さを実感しました。また、ウインターカップに出場したチームがすべて名南支部所属であり、その試合を観戦できたことは非常に嬉しく、貴重な経験となりました。

🏀 全国大会で感じた責任と学び 🏀

全国大会で2試合を担当し、改めて審判としての責任と役割を強く感じました。以前「色々な所へ行き、色々な人と一緒に審判をするといい」というアドバイスをいただいたことがあるのですが、今回まさにその通りで、初めてお会いする方々と試合を担当する経験は大きな学びとなりました。試合前は不安もありましたが、結局はこれまで積み重ねてきたことをコート上で発揮するのみだと実感しました。



🏀 試合中に意識したこと 🏀

3年生の引退がかかっていることを意識しながら、両チームが納得できる形でゲームを終えられることを心がけました。試合後に、ゲームフローを感じ取り、ルールやガイドラインに沿いつつも、アンダーカテゴリーならではの「寄り添う」姿勢を大切にするべきだというご助言もいただきました。レフリーとして、与えられた責任を自覚し、良い試合を作り上げる一員になりたいという思いを改めて強く認識しました。

🏀 学び・課題・次に向けて 🏀

特別なことは何もなく平常心で臨み、全体を見て周囲と連携することの大切さを再確認しました。それとともに、一瞬の判断力は引き続き課題であり、反省を次に活かすためにも、まだまだ地道に鍛錬を重ねる必要があると感じています。非日常の舞台が輝いて見えるのは日常があるからこそだと捉え、日常を大切にしながら、今後も研鑽を継続し、より良い試合づくりに貢献できるよう努力してまいります。このような貴重な機会をいただき、派遣してくださったことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。





派遣審判

丸山 栄治 (U18/B級)

出場チーム

男子：ISC PANTHERS

女子：J,sphere

三遠ネオフェニックスU15

■京王 Jr.ウインターカップ2025-26

 [公式サイト](http://www.keio-jwc.jp)

日時：2026年1月4日～8日

開場：京王アリーナTOKYO (東京都調布市)

全国の中学生プレーヤーが頂点を目指す「Jr.ウインターカップ2025-26」が、いよいよ1月に開幕します。

この大会は、U15世代の集大成であり、未来の日本バスケットボール界を担う才能たちが、その情熱と技術をコート上で爆発させる舞台です。

トップレベルのプレーを間近でジャッジすることは、審判員にとっても大きな喜びと学びの機会となるでしょう。選手たちの一瞬一瞬の輝きを、最高のレフェリングで支えましょう。全国の舞台で繰り広げられる熱戦にご期待ください！

■第92回 皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 第101回天皇杯 全日本バスケットボール選手権大会

日時：2026年1月5日～12日

開場：国立代々木競技場第一・二体育館、駒沢体育館

 [公式サイト](http://www.jba.or.jp)

バスケットボール界で最も権威ある大会の一つ、「天皇杯・皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会」が、1月にファイナルラウンドを迎えます。

プロからアマチュアまで、カテゴリーを超えたチームが日本一の座をかけて激突するこのトーナメントは、まさに日本のバスケットボールの頂点を決める戦いです。

トップリーグの選手たちが見せる最高峰のプレー、そして何が起こるかわからない一発勝負の緊張感は、審判員にとっても特別な舞台です。

最高の準備をして、この大舞台に臨む選手と審判員の勇姿を見て勉強しましょう！



THEME 「ルールブックを味方にしよう！」

ルールブックを読まれたことはありますか？

バスケットボールに関わる方々にとって、必要な基礎知識やケースが詰め込まれています。講習会では、ルールブックの読み進め方や、映像を交えた解説を行いました。



(オンラインの風景)

番外編 2025-2026 トップリーグのシーズン中のオフは？

女子・男子ともにトップリーグシーズン真っ只中ですが、皆様は現場にゲームを観に行かれたか？

■ 肌で感じる大切さ

「審判の姿は、生の現場で見てください。コートに立って、その審判が放つ空気感や緊張感を感じ取ることも、次のステップアップに繋がるんですよ」と、私が審判を始めたばかりの時に、教えてもらいました。それを、今でも続けています。



ご家族やお友達と一緒に、ぜひ現場でバスケットボールを楽しんでください！

皆さんのお声をお聞かせください！

愛知県の女性審判員の皆さんの審判活動がより整うことを目指し、皆様のご意見をお聞かせください。皆さんのお声を、以降の通信にて発信することや、今後の愛知県女性審判講習会等への反映も検討していきます。よろしくお願い致します！



お問い合わせ refcom_2015@aichibasketball.jp (担当：臼井菜津子)